

プロがおすすめるカメラアプリ

for  
– iPhone –



by **nico.**

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

# 目次

## 第一章

はじめに.....	5
-----------	---

## 第二章

撮影機能 -ピントと明るさ-.....	10
---------------------	----

撮影機能 -シャッタータイムラグ-.....	17
------------------------	----

## 第三章

画像処理 -PRO LAB 編- .....	19
------------------------	----

画像処理 -PRO CUT 編- .....	30
------------------------	----

画像処理 -PRO FX 編- .....	37
-----------------------	----

## 第四章

おわりに.....	47
-----------	----

# 第一章 はじめに

iPhone をお使いの方へ

この度はダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。  
プロフォトグラファーのニコと申します。

標準のカメラ機能に満足が行かない！  
友人達とは違う写真を撮りたい！  
ただキレイに写したい！  
そんな想いがあるかと思います。  
それに応えられるようなアプリがあるんです。

是非、じっくり読んで下さい★

今回は、【プロカメラ】というアプリのご紹介です。

かれこれ2年ほど、iPhone にはお世話になっています。  
仕事柄、自分が撮る写真にはウルサイです(笑)。

ですので数あるカメラアプリを片っ端から使ってみてますが、  
未だにこれを超えるアプリはお目にかかっていません。

私が考えるスマホのカメラアプリについて、とても大事なことが  
いくつかあると思っています。

それは、多機能すぎてはいけないこと。

多機能がけっして悪いことではないんですが、多機能すぎて操作性が落ちると本末転倒です。

キーボードもマウスもなく、タッチパネルで操作するスマホ。

あまりに細かい設定はやり辛くて当然です。

ですので高機能化とシンプルな操作性という、相反する性能を持ち合わせるのはとても難しいことだと思います。

標準のカメラ機能が極シンプルなのも頷けます。

超有名カメラアプリに、「Instagram」というものがあります。

この人気アプリの秘密は超簡単な操作性が大きな要因でもあると思います。



ただこの手のアプリの欠点が、「そのアプリ」で撮ったんだね、ということが見えすぎてしまうこと。

なんというか、個性的なエフェクト（画像加工効果）が売りだったのにみんなが使うもんだから珍しくなくなってしまったというか。

結局流行で使ってたーって感じで自分が無いように見えてしまう。(私だけ?)

もちろん、レトロな色調に編集できるので場合によってはアリなのですが。

べつにそのアプリ使わなくても「そんな味」は作れます。

言い換えれば、「その手のアプリ」では、「綺麗に」撮ることは難しいのです。

レトロな雰囲気しか作れませんから。

ちなみに上記アプリに関しては純粋なカメラ・写真編集機能としての筆者の感想です。

そのアプリで撮った世界観を共有するソーシャルアプリとしての性能に口を挟むつもりはありません。あしからず。

では、【プロカメラ】にどんな魅力があるのか、端的に書き出してみたいと思います。

- フォーカスと露出が別々に設定できる。
- シャッタータイムラグの少なさ
- 撮影後の編集機能の操作性の良さ

とまあ、強いて言うなら当たり前の機能が、バランスよく装備されています。

もちろんそれぞれの機能については各章でくわしくご説明します。

標準のカメラ機能よりも高性能で、簡単操作で美しい写真が撮れる。

さらにさまざまな画像編集やエフェクト追加も可能。

そんなシンプルさと高性能さを高い次元で併せ持ったアプリが、こちら！



プロカメラ



通常は¥250 の様ですが、時折 1 ドル程度（¥85～90）に値下げすることがあります。

どちらにしてもそんなコーヒー 1 杯未満の金額であれば素晴らしいコストパフォーマンスであると言い切れます！

カメラアプリにお悩みの方は是非試してみてください！

次章から実際の撮影・編集機能についてご紹介します。

## 第二章

### 撮影機能

#### - ピントと明るさ -

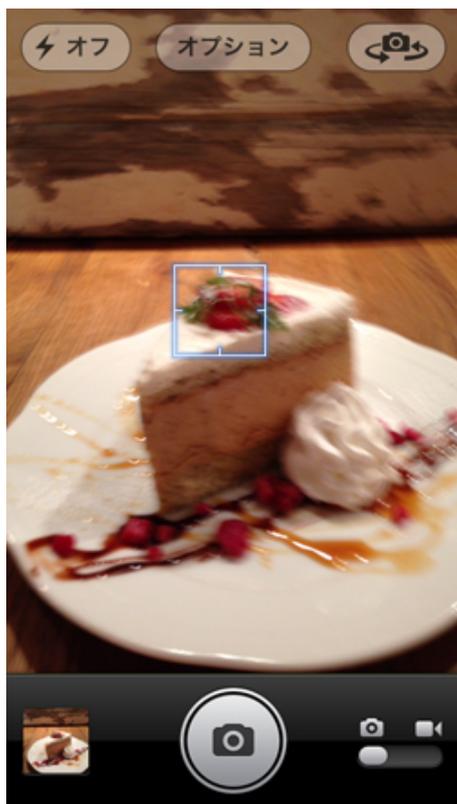
●フォーカスと露出が別々に設定できる●

この機能、どういうことかお分かりでしょうか？

基本的に iPhone のカメラでは、明るさの調整とピント合わせの設定は同じ場所からしか出来ないんです。

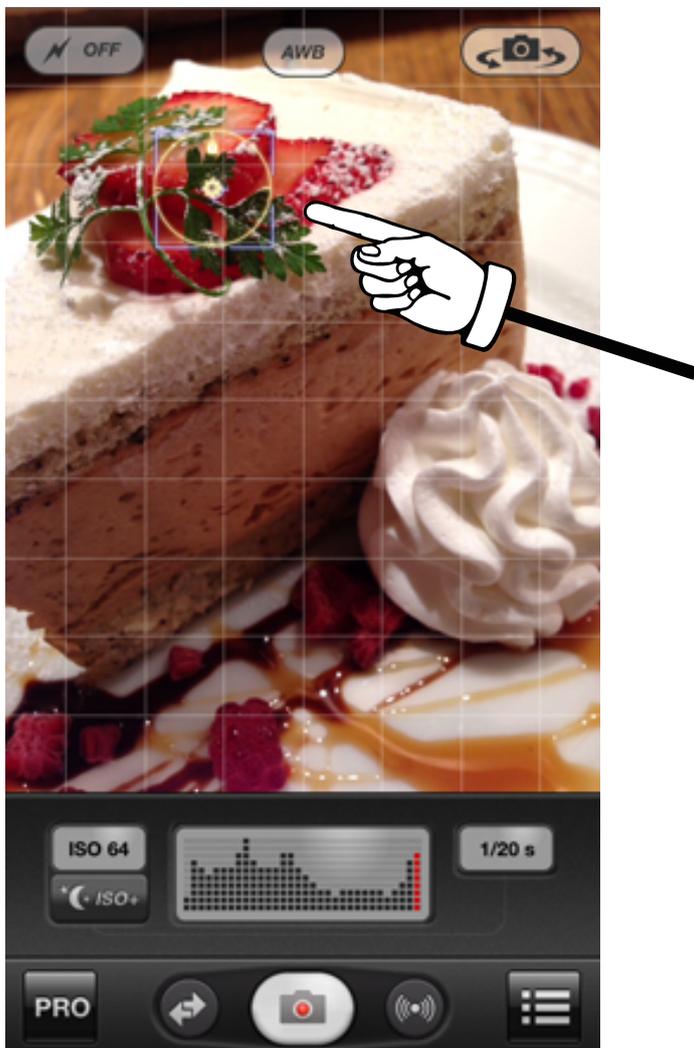
どういうことか写真でお伝えしましょう。

これは iPhone の標準アプリの画面です。



ご存知の通り、真ん中の□がフォーカス&露出設定です。  
タッチしてた部分に移動してピントや明るさを調整します。

そしてこちらがプロカメラの画面です。



イチゴのところに黄色い○と、ブルーの□が見えると思います。

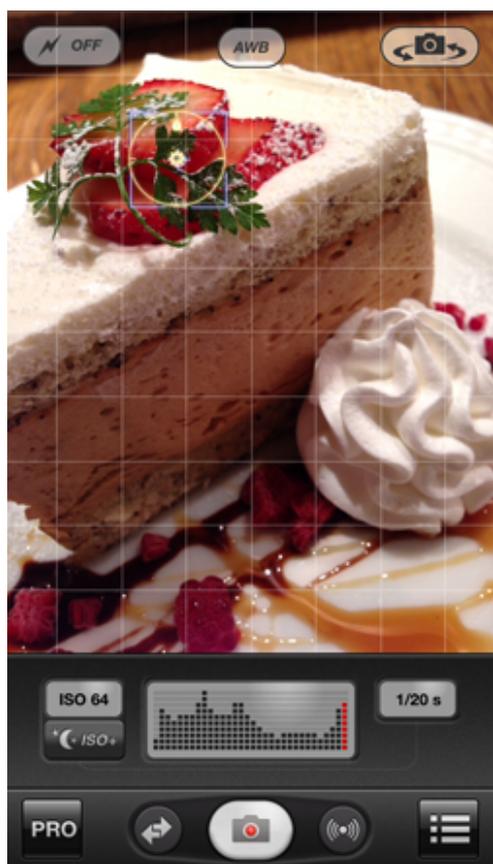
この○と□、別々に動かすことが出来るんです。  
この機能が付いているアプリはあまりありません。

ではどのように使うのか。

このケーキの写真で解説します。

では、【フォーカスと露出が別々に設定できる。】とどうなるのでしょうか

まず先ほどの設定のまま撮ってみます。



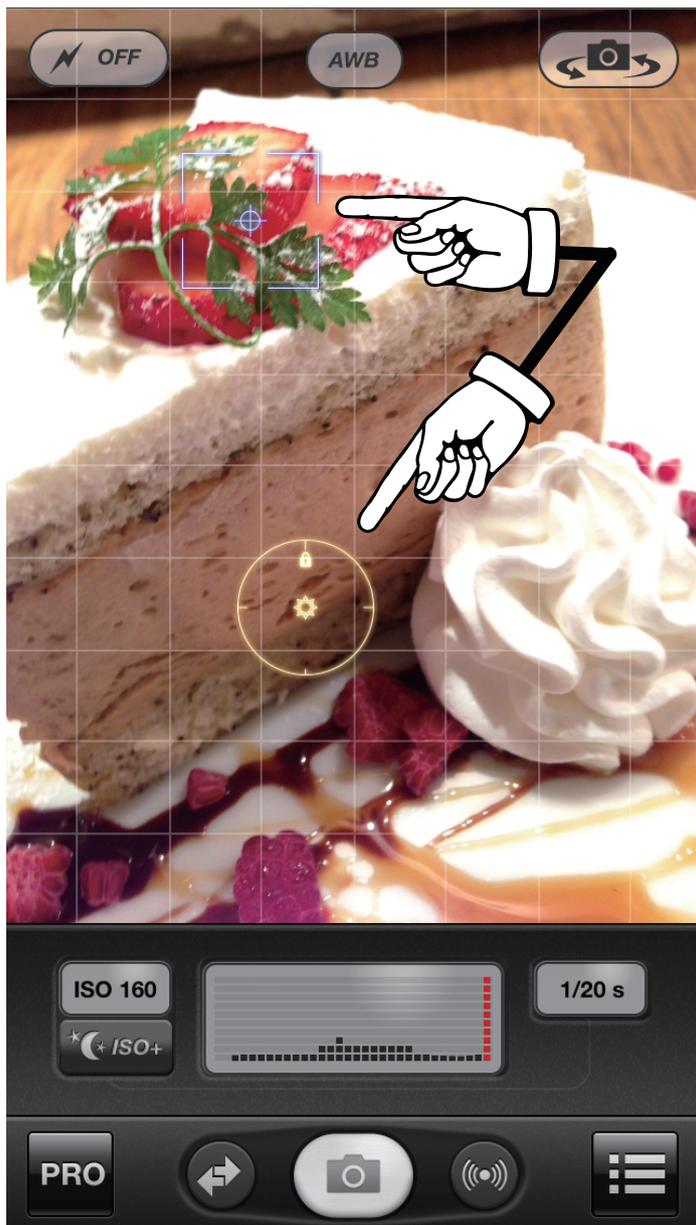
おそらくどのカメラアプリで撮っても、このように写るのが基本かと思います。

次に、設定を変えて撮ります。

ピントの□はこれまでと同じく、ケーキのトップへ。

露出の○を暗くなっているケーキの側面へドラッグして移動します。

画面はこうなってます。↓



この状態でシャッターを押します。どうでしょうか。  
先程の物と並べてみますね。



Before

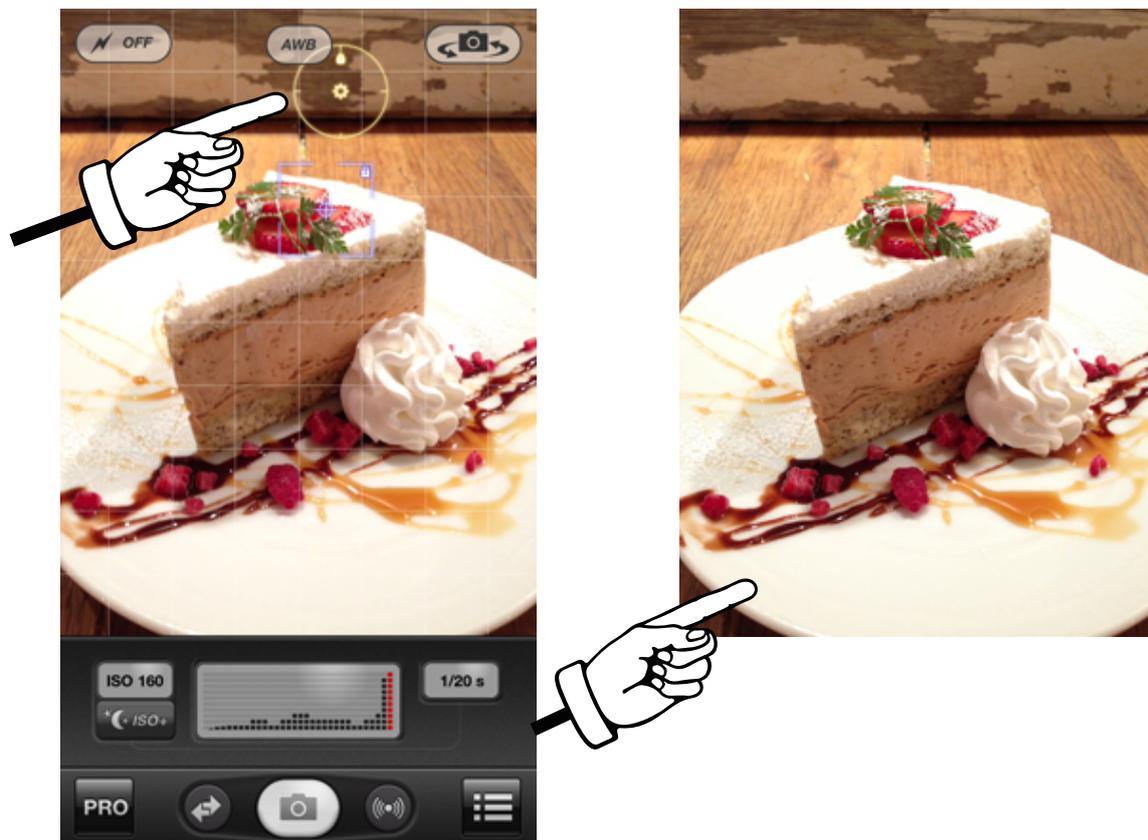


After

ピントの場所が同じで、明るさの違う写真が撮れました。  
これで紅茶のムースの色味が表現できました！ \(\^o^\)/

この場合はケーキ内でこのように設定しましたが、べつに明るさを合わせる場所は画面内ならどこでも良いのです。

そのサンプルがこちら。



露出（明るさ基準）をケーキ奥の暗い場所に合わせて撮りました。

この機能により、ピントはそのままに明るさを自在にコントロールすることが出来ます。

逆光のシチュエーションで明るく撮りたい時や、白黒はっきりしたもの、影がはっきりしてるものなど。

さらには敢えてシルエットで撮りたい時など。

慣れるとものすごく便利なので、是非お試しください。

## 撮影機能

### - シャッタータイムラグ -

これはどういうことかと言いますと、シャッターを押して記録されるまでの時間が短いということです。

連射も可能です。

これによってシャッターチャンス逃すケースが減ります。

デジカメをお持ちの方はよく感じる問題点です。

こればかりは実際に試してみないと何とも言えないので、ダウンロードした際に実感してください。

これはなぜこういうことが可能かという、前述した□と○で既にピントと明るさが設定されているからです。

これまでシャッターを押した後の時間差でイライラされてた方には、とても有り難い機能かと思います！

## 第三章

### 画像処理

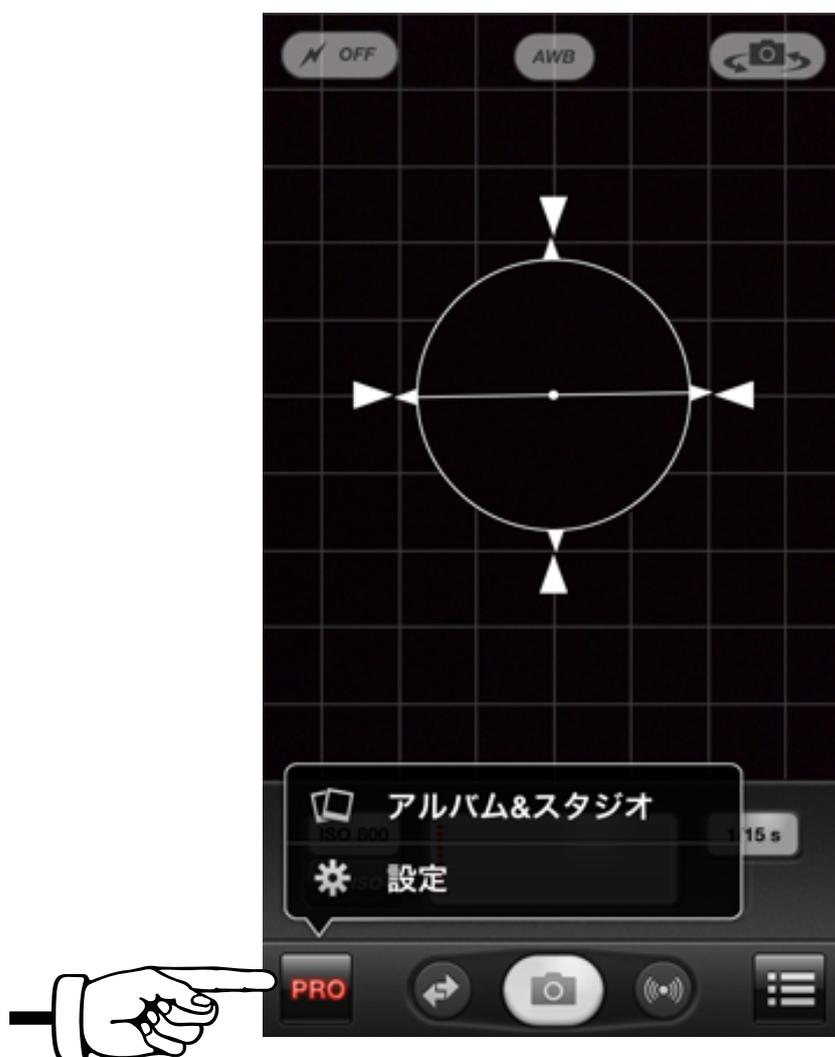
#### - PRO LAB 編 -

さて、ピントと明るさを合わせて撮ったのは良いのですが、  
せっかくのデジタルカメラアプリです。

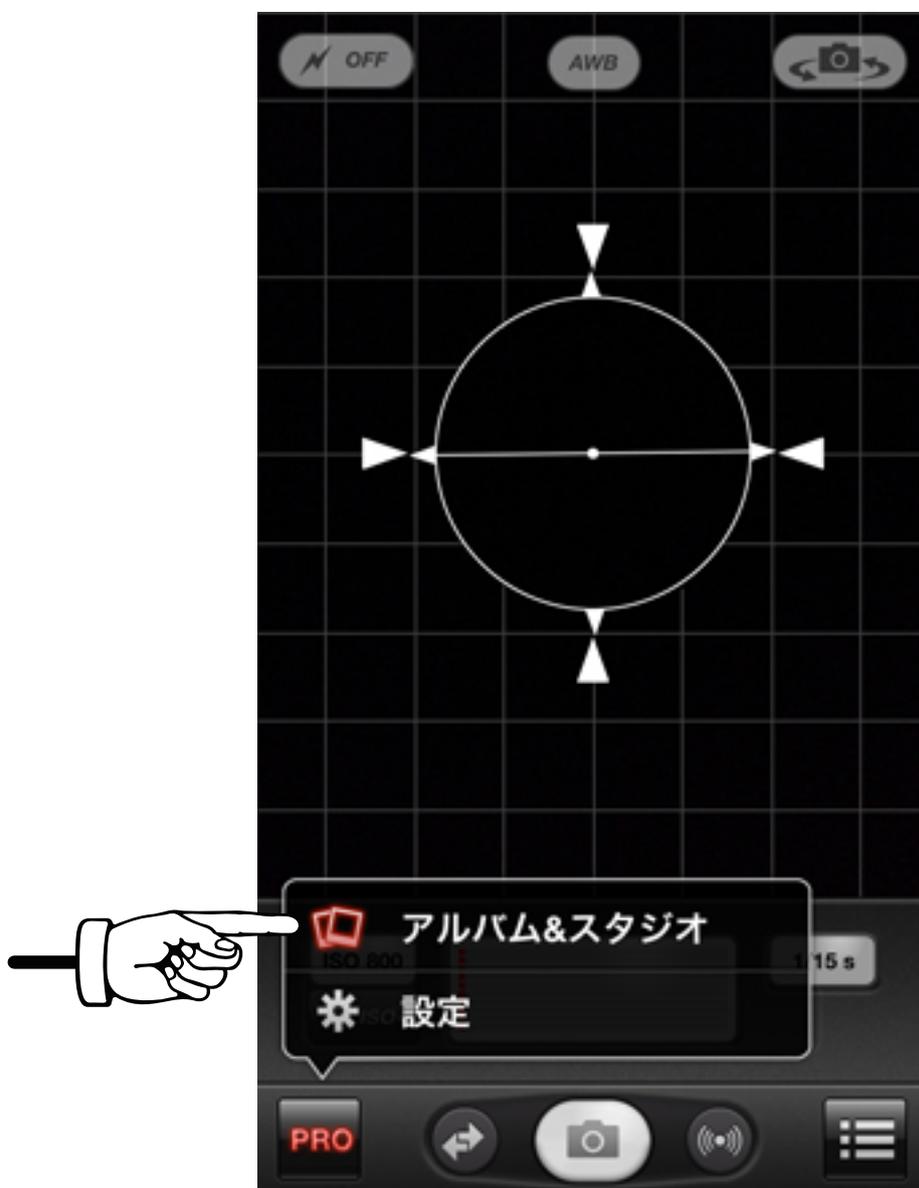
微調整してより綺麗に見せるもよし、トリミングするもよし、エ  
フェクトをかけても良いでしょう。

その使い方を簡単にお伝えします。

まず、カメラの状態です、画面左下の「PRO」というボタンを押し  
ます。



すると、「アルバム&スタジオ」という表示が出ますので、そこをタップ。



次の画面で「カメラロール」を選択して、編集したい写真を選びます。

選んだら、画面右下のボタンをタップ。



写真の明るさや色を変えたい時は  
一番上の「PRO LAB」をタップ。



画面右端にツールが並んでいます。  
マークをタップするとスライドして出てきます。

上から、「明るさ」

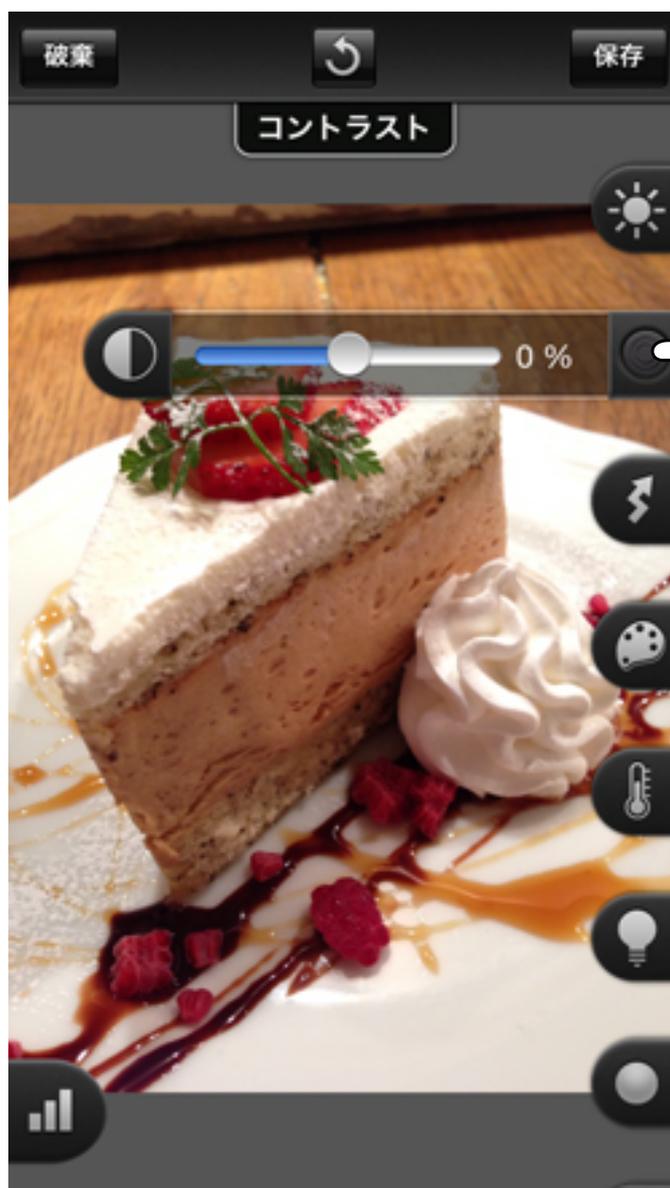


【全体的な明るさを調整します】

飛び出てきたスライダーを動かして調整します。

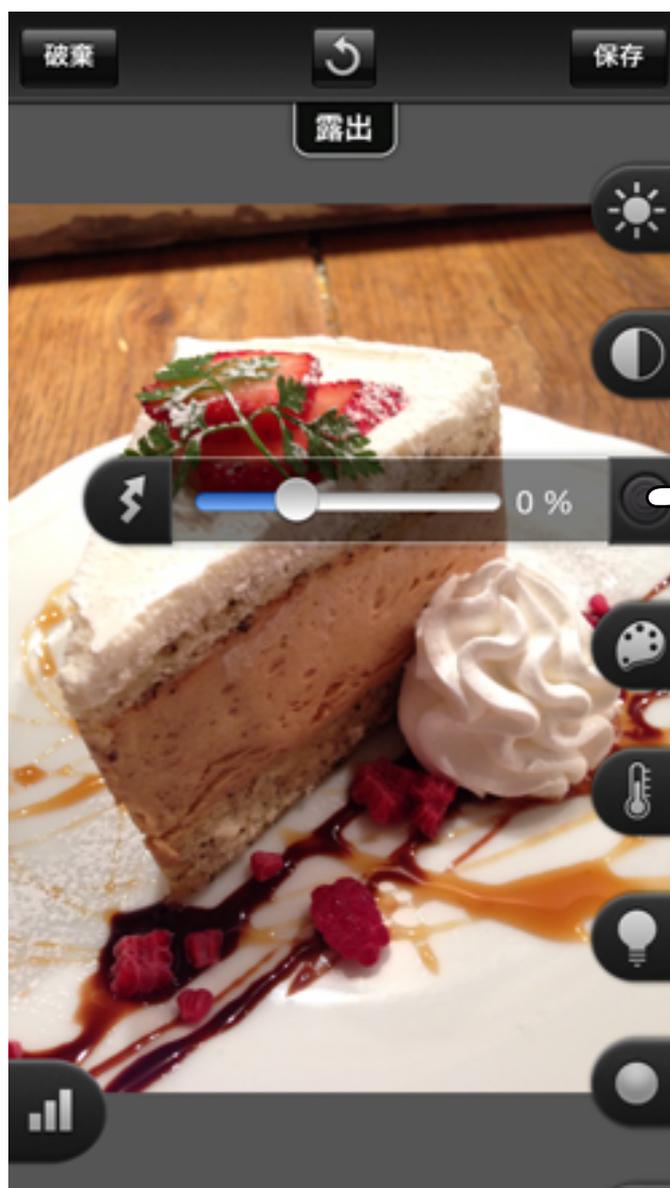
画面を見ながら加減してください。

次に「コントラスト」



【明暗の差をコントロールします】  
主に影を強くしたい時に使います

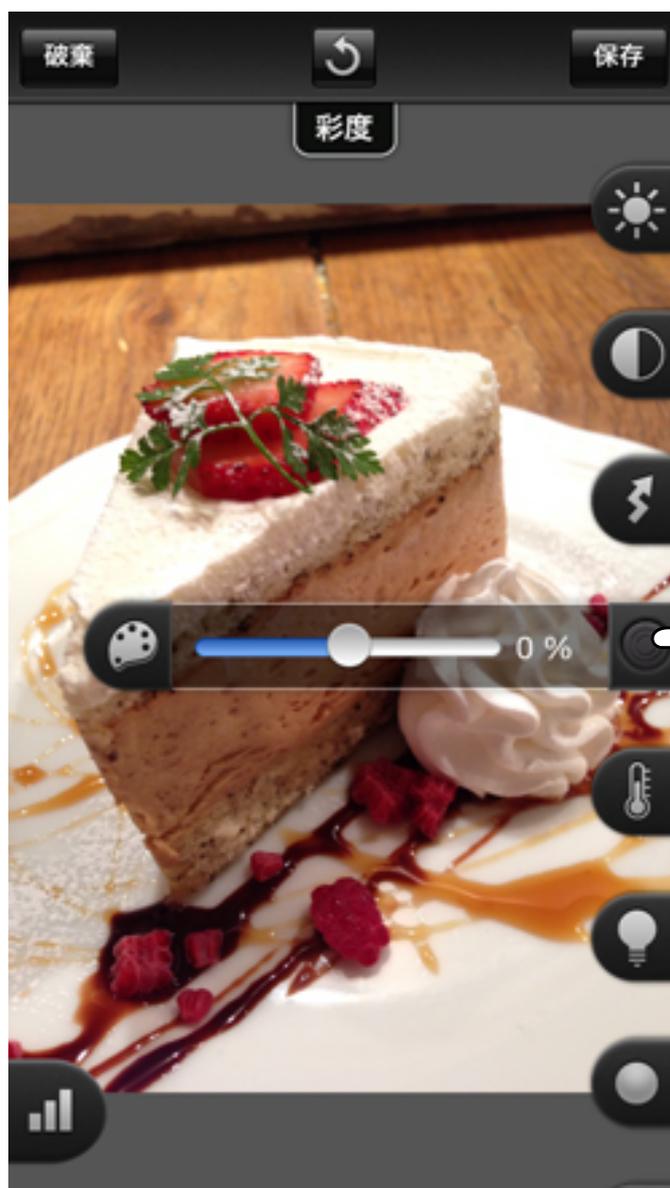
次に「露出」



【白く光っている部分をコントロールします】

白飛びしすぎる時に使います。

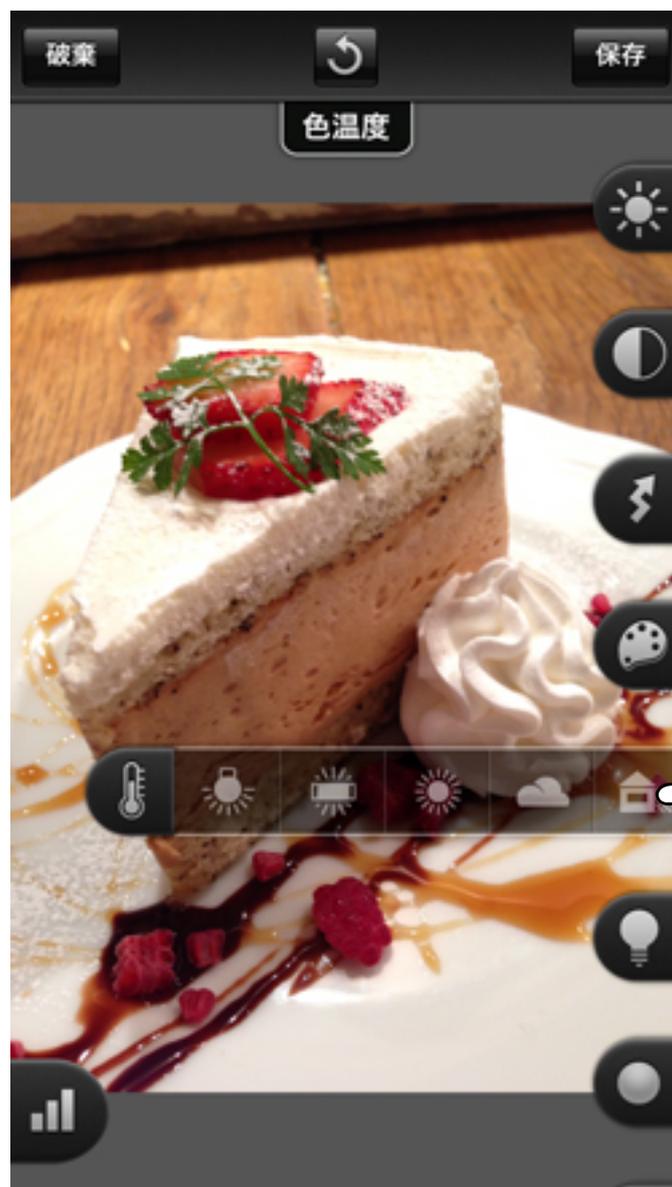
次に「彩度」



【鮮やかさをコントロールします】

掛け過ぎに注意

次に「色温度」



【光の色調を調整します】

蛍光灯の光と白熱灯の光の違いのようなものです。

試してみてください、好みの色味にしてください。

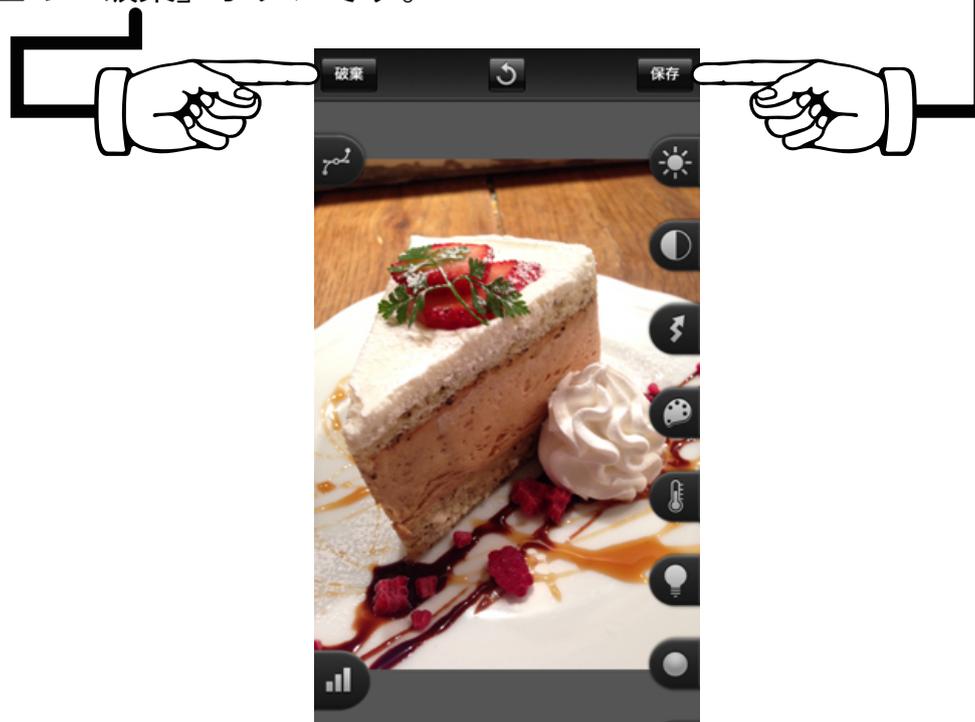
基本的に、上記の設定でかなりの部分が調整できます。  
十数万円する画像処理ソフトの基本的なツールが使えていると  
言っても過言ではないかもしれません。

そこから下にもツールが続きますが、正直あまり使用するメリッ  
トがありません。

興味がある方は試してみてください。

少なくともわたしは必要性を感じませんでした。

調整が出来ましたら、画面右上の「保存」ボタン、取り消すなら  
左上の「破棄」ボタンです。



「保存」すると、『新しく調整された画像』がカメラロールに保存  
されたかと思えます。

次は、トリミング加工の説明です。

# 画像処理

## - PRO CUT 編 -

では先ほど加工した写真をまたカメラロールから選んで頂き、

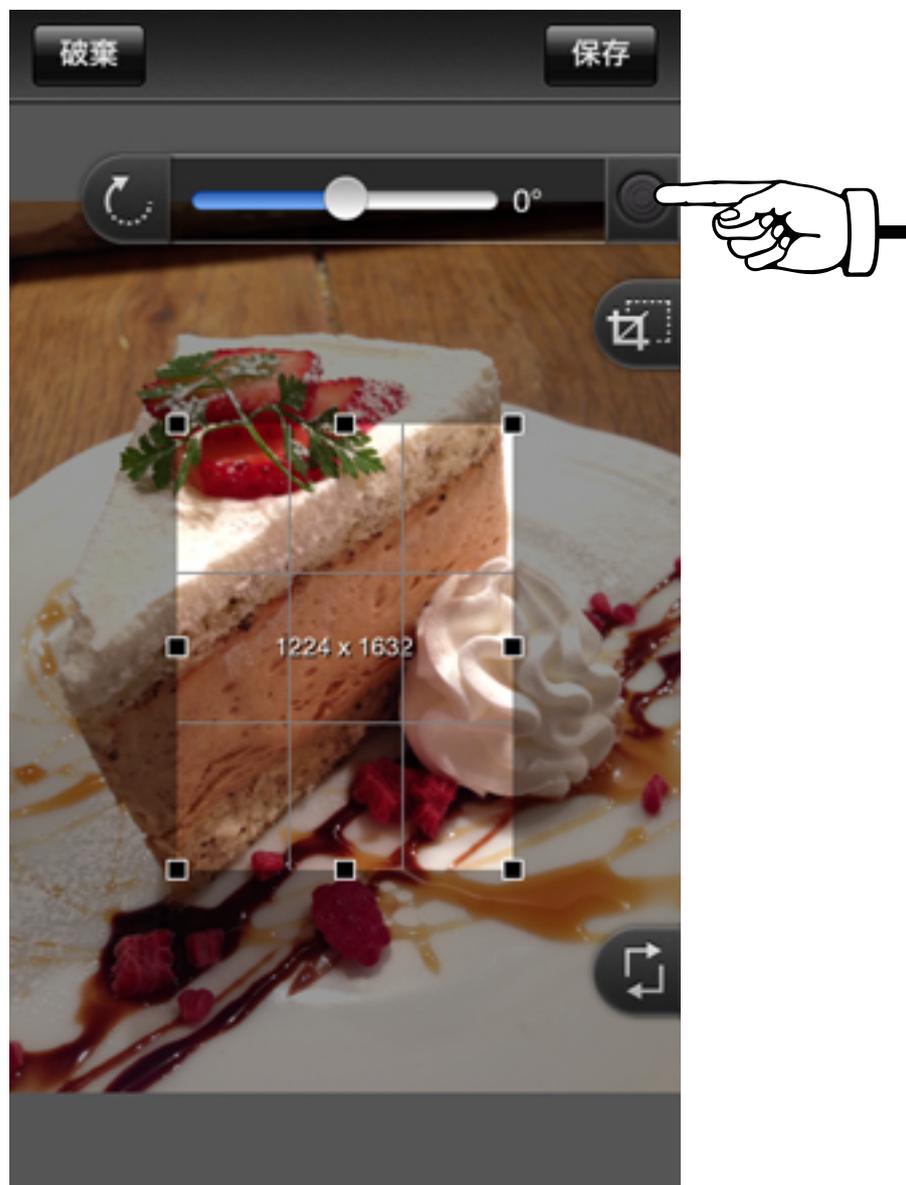
画面右下の「PRO CUT」をタップ。

するとまた右にツールが並んでいます。



一つずつ紹介していきます。

上から「角度」



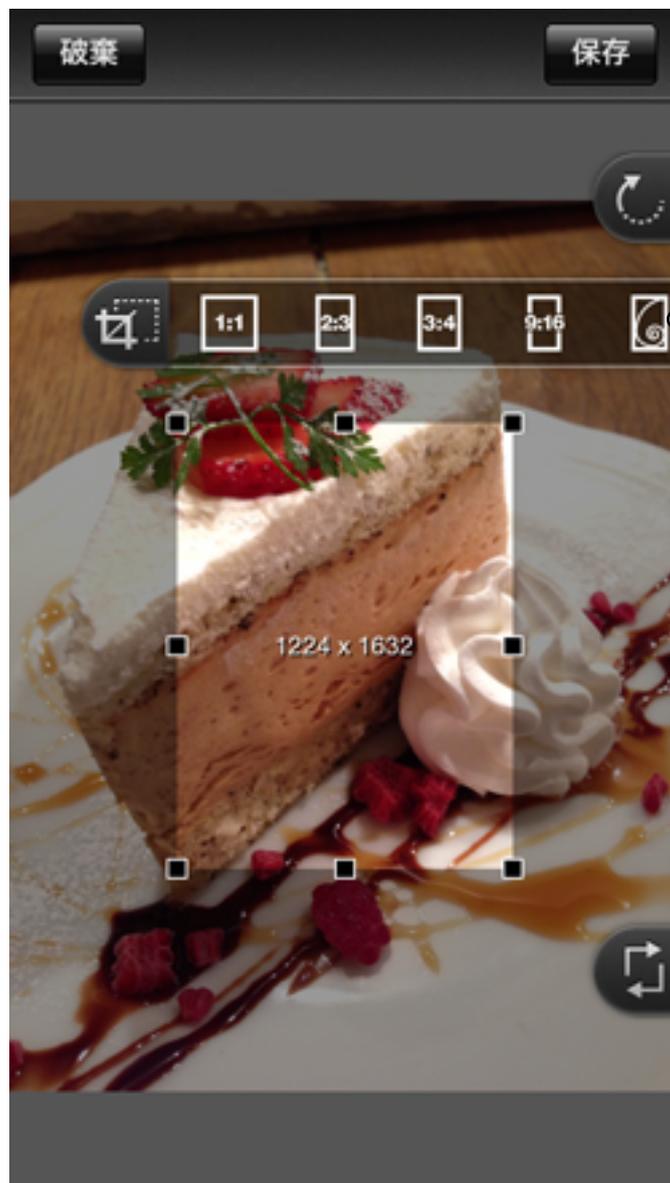
**【写真の角度を変えられます】**

傾けて撮ってしまったときに使えます。

水平線を撮った時など、傾いていると違和感があります。

ここで調整すると良いでしょう。

次に  
「トリミング」



【好きな縦横比で切り取れます】

同じ比率をタップすると縦横が切り替えられます。

一番使うのがこのツールかと思います。

撮ったままの画像は [3 : 4] の比率です。

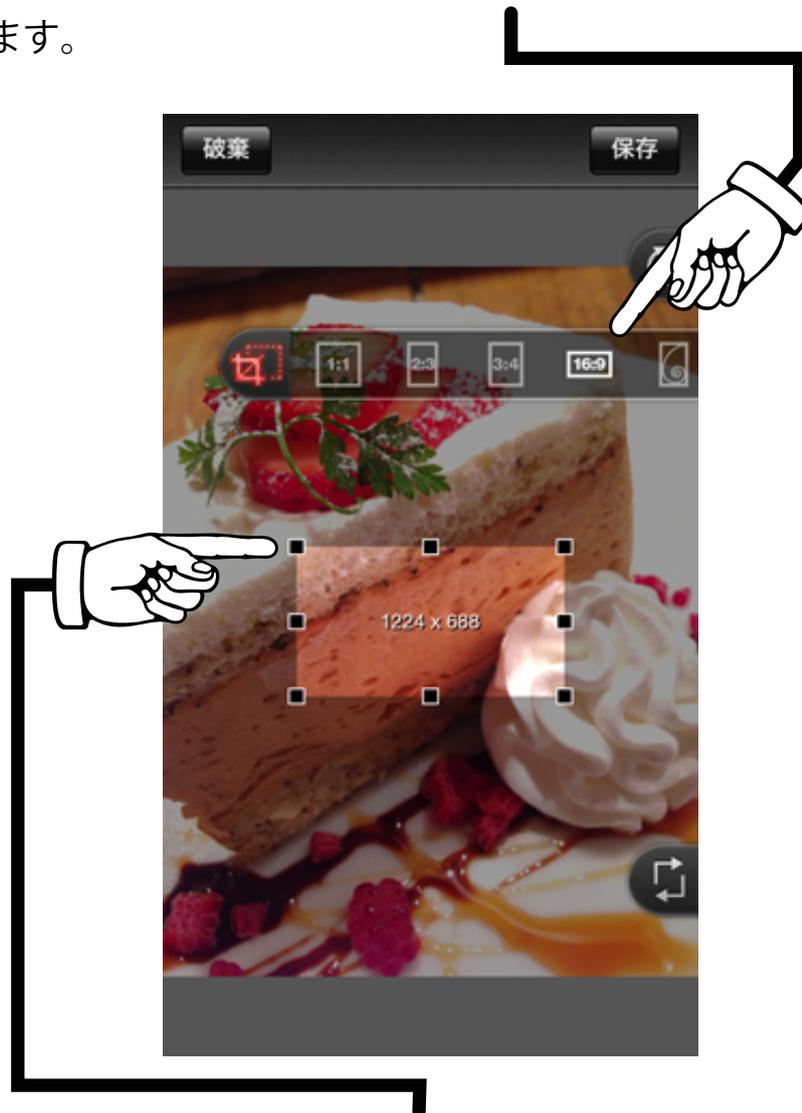
その画像を iPhone5 の壁紙にしようとしたとします。

ですが、iPhone5 の壁紙サイズは [9 : 16] なのです。

必要に応じて、適した比率でトリミングする必要があります。

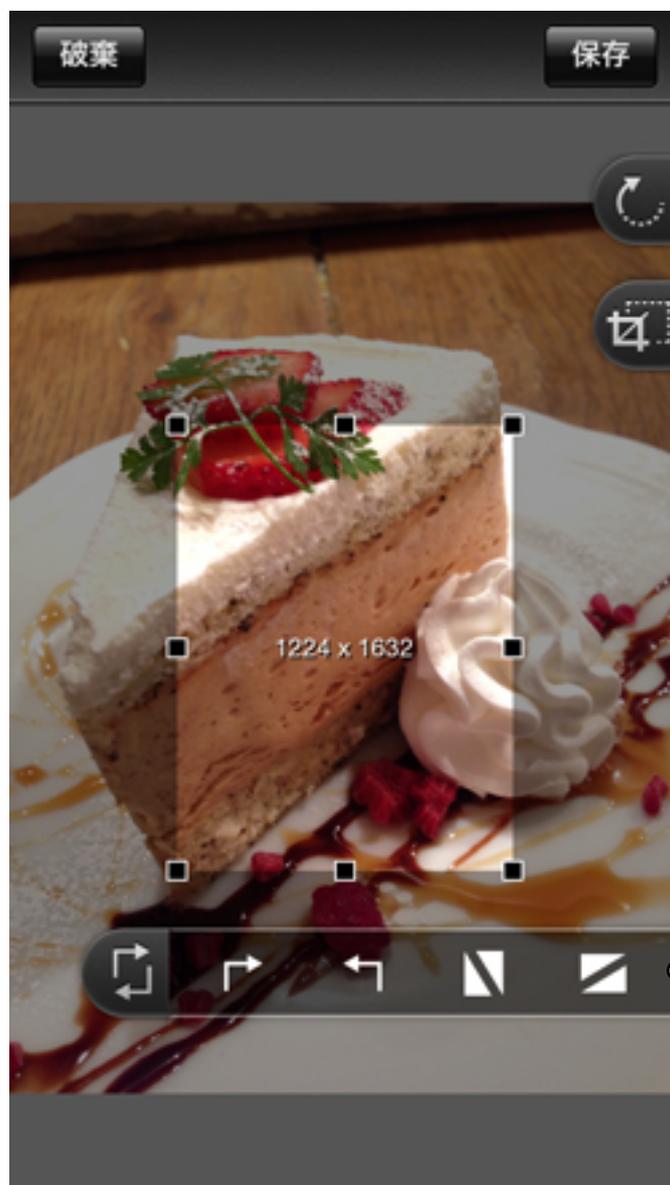
その時は、このツール内のその「比率」をタップしてください。

横向きに切出したい時はもう一度「比率」をタップすると表示が変わります。



尚、画面中央に表示された枠の黒いポイントを移動させると範囲を指定できます。

次に  
「回転」



【90° 回転や、左右反転、上下反転が出来ます】  
真上を向けて撮ったり、地面を撮ったりしたときなど、  
写真の上下がわかりにくい時がありますよね。  
後からこのツールで天地を決められますので重宝します。

調整が終わったら、画面最上部のボタンで「保存」か「破棄」を選んでくださいね。

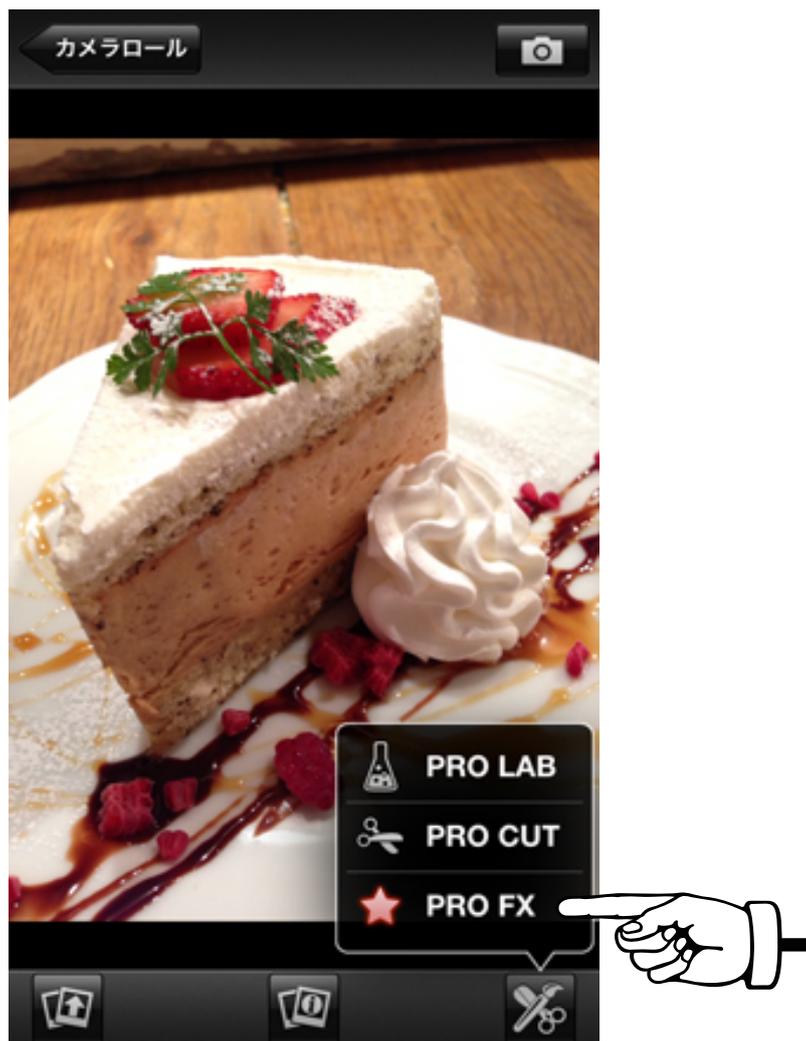
次章はエフェクト編です。

# 画像処理

## - PRO FX 編 -

これまで細かい設定でオリジナルの色調を作ってきましたが、このアプリには簡単に設定できるテンプレートもあります。  
この「PRO FX」というのがそれにあたります。

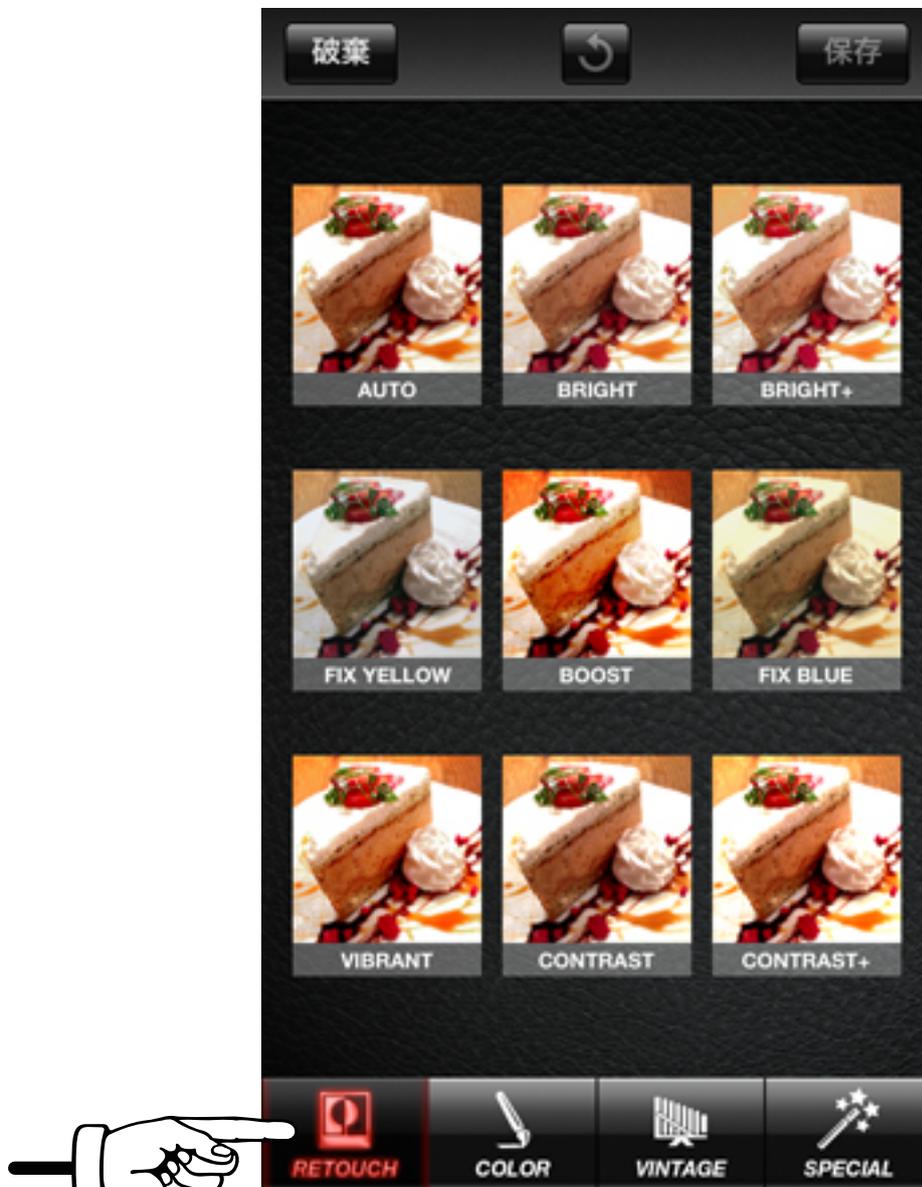
カメラロールから写真を選び、画面右下から「PRO FX」をタップ。



ここでは画面最下部に4つメニューがあります。  
そのそれぞれに9つのサンプルがあります。  
自動でサンプル画像が出ていると思いますので、見た目判断してください。

では左から順に説明します。

「RETOUCH」



【基本的な色調は変えない自動調整】

実際と大きく変わらない雰囲気で、  
尚且つ明るさや彩度を変更した設定です。  
先ほどの [PRO LAB] で調整が難しい方は  
ここだけで試しても良いかもしれません。

このように美味しそうなケーキなら、  
[VIBRANT] もアリですね。



画面上部中央をタップ！で効果を確認できます。

前の画面に戻る時は「破棄」をタップ。

次に  
「COLOR」

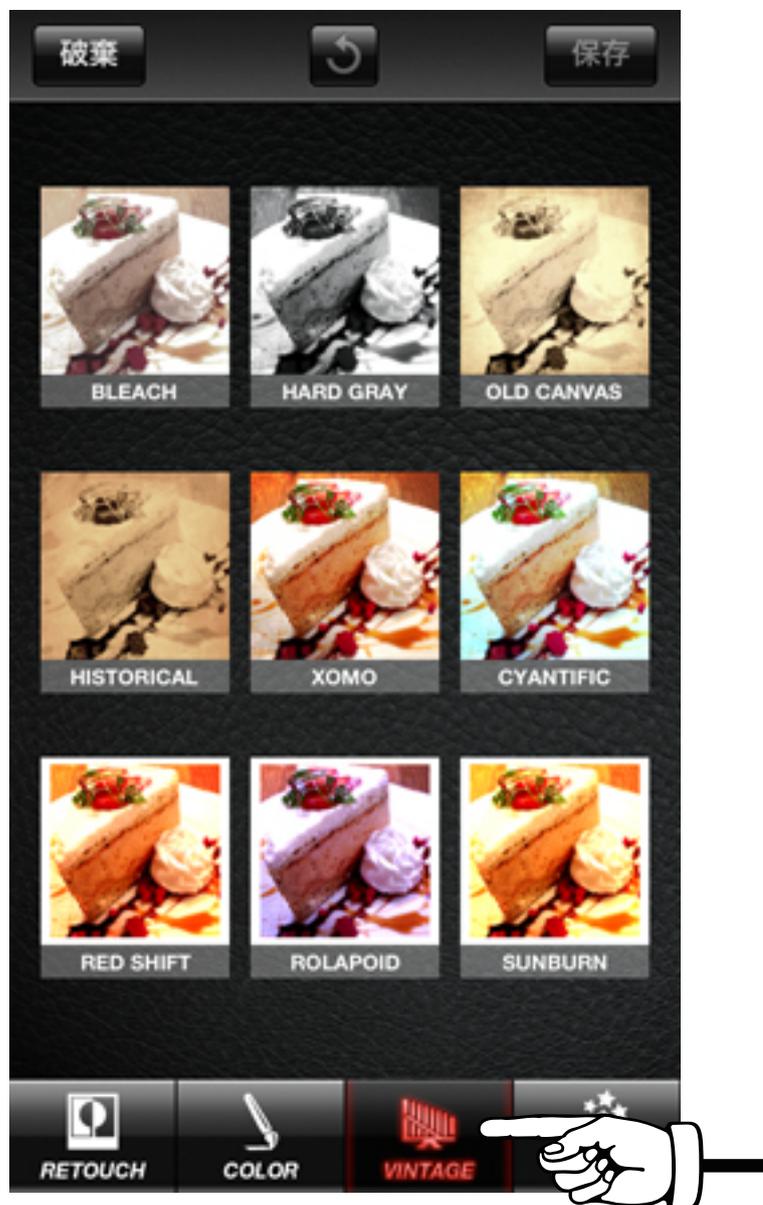


【モノクロやセピア調等、色味を含めた自動調整】  
セピア調やモノクロ写真はここでセレクトした方が  
綺麗に出来るかと思います。

モノクロの [GRAYON] です。  
落ち着いた大人なイメージならコレでしょう★



次に  
「VINTAGE」



【トイカメラ風やフィルムカメラ調等、  
ビンテージカメラで撮ったような自動調整】  
雰囲気重視ならこのメニューが使えますね！

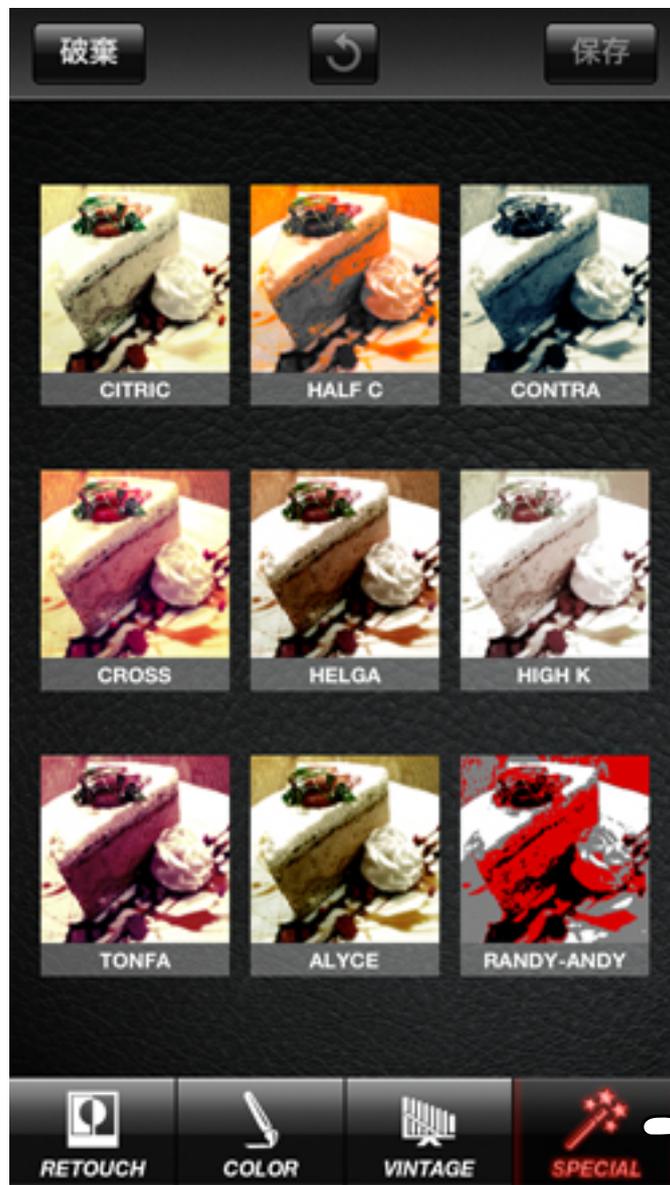
[HISTORICAL]

これもなかなか面白いと思います。



折れ目までついててすごくリアルですw

最後に  
「SPECIAL」



【現実の色調よりも絵画的な色調設定】

キワモノばかりと思いきや  
意外と使えるものもあつたりします。

個人的にはこの [HIGH K] が好きです。



あっさりとした中にピリッとした  
シャドーがシブいです。

「PRO FX」は以上となります。

# 第四章 おわりに

駆け足で「PRO CAMERA」アプリについてご説明して来ました。  
あくまでも基本的な使い方、調整の仕方についてでしたが、参考  
になりましたでしょうか？

無料撮影講座のメルマガをお読みいただいている方は、この情報も  
追加して写真をとってみるとかなり上達していくと思います。

無料メルマガにご登録されていない方はぜひこちらから登録してく  
ださい。

全5回の無料撮影講座開催中です。

[http://nicocafe.info/?page\\_id=128](http://nicocafe.info/?page_id=128)

本当に簡単なことで写真は劇的に変わることが出来ます。

例えば・・・こちら。

子供を撮影するためのカメラ教室の  
内容を無料で配布しています。

[smer.jp/fqe](http://smer.jp/fqe)

逆光でとる方がきれいに撮影できるというのが  
何となくお分かりいただけましたか？

このようにちょっとした知識で写真が激変します。

これまで以上にスマートフォンでより素晴らしい写真を撮って頂け  
たら幸いです。

最近のスマートフォンのカメラ機能は、ほんとうにすばらしくデジカメと比べても割と納得のいく性能です。

私の知り合いにはネットショップの商品や会社のブランド用に人物写真をiPhoneで撮っているところもあるくらいです。  
(私はもちろんiPhoneでは撮りませんが!!)

それくらい充実しているんです。

スマートフォンに限らず、携帯は常にどこにいても持ち歩きます。

家族でお買い物いくときも、恋人と旅行にいくときも、仲間と飲んでいるときも・・・

いろんな場面で写真を撮る機会が多くなっています。  
ぜひ、これらを読んでいただき、facebookにアップしたりしてみてください ^ ^

参考までにこちらもお覧ください。

➡子供をうまく撮る方法。

[【プロが教える一步進んだ子供撮影術】](#)

(出産祝いとして人気があります笑)

➡ネットショップ以外にも使える。

[【誰でも出来るネットショップ撮影術】](#)

(ネットショップのようなきれいな写真を撮ってもらいたくて作ったテキストですが、人物やモノを撮る際に役に立ててもらってます)

折角の楽しいひととき、よりよい形で残していきましょう!!

最後までお読みいただき、ありがとうございました！

Photographer nico.

アプリダウンロードはコチラから



プロカメラ



発行者情報

**Photographer nico.**

オフィシャルサイト：<http://www.nicography.jp/>

nicocafe：<http://nicocafe.info/>

facebook：<https://www.facebook.com/nicography.jp>

アメブロ：<http://ameblo.jp/nicography/>